

TumorImager 2™

 **Biopticon**
Discovery through imaging

ローデント皮下腫瘍計測装置

腫瘍(Tumor)計測の新世代、新型スキャナー登場



 **Shoshin EM Corp.**
ショージン EM 株式会社

TumorImager 2™



TumorImager2は新世代の小動物の皮下腫瘍測定装置です。光格子パターン投影法を用い、3D構造と色彩を同時に測定します。新アルゴリズム(特許取得)により忠実に皮下腫瘍の体積が算出可能です。TumorImager2はスピード、正確性、信頼性にあふれた簡潔堅牢な計測システムです。

TumorImager2は、ハンディタイプでの使用と固定での使用との両者に対応。小型クリーンベンチでの使用が可能なポータビリティを持っています。



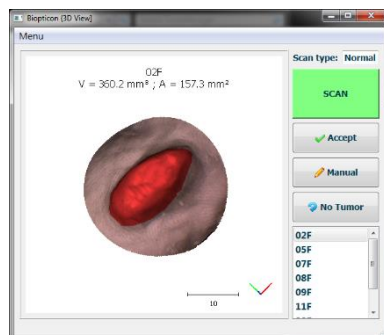
動作原理

光格子パターン投影法による非接触3D計測
安全高信頼性を誇る、高速、精密測定(3-4秒/1検体)

光格子パターン投影法

幾つかの格子パターン光線を対象物に当て、反射する時間差や照射角度を解析して3次元形状を計測する方式です。高速・高性能なスキャンが可能で、スキャン面は滑らかなのが特徴です。

TumorImager1で培った正確な体積計測アルゴリズムをさらに発展。腫瘍だけを的確に判断して体積を計測します。
(正確性を示すスーパーインポーズ画像表示)



測定方法

TumorImager2による測定はきわめて簡単です。

- 1.動物の腫瘍部位を、スキャナーヘッドに取り付けられた黒いマスク穴の下まで持ってきます。腫瘍をマスク穴の中央に保持します。
- 2.スキャナーグリップの開始ボタン、またはタッチスクリーンの開始ボタンを押します。もし両手で動物を保持する場合はフットスイッチを使用してください。
- 3.光格子パターンが1秒間照射されます。その間しっかり動物を保持してください。スキャン後マウスをケージに戻すことができます。
- 4.腫瘍イメージが体積値と一緒にプログラムスクリーン上に表示されます。表示後、次の測定が可能です。

